

沿岸広域振興局長 殿

提出者 龍振鋳業株式会社

住所 〒022-0005 岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1

氏名 龍振鋳業株式会社

取締役社長 大庭裕士

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)



地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	龍振鋳業株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,290 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
龍振鋳業株式会社	〒022-0005岩手県大船渡市日頃市町字石橋16-1	4,290 kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途岩手県沿岸広域振興局）成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量			二酸化炭素の排出の状況					
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	8 kℓ	7	2.32 t-CO ₂ /kℓ	19	16	14		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	7 kℓ	7	2.49 t-CO ₂ /kℓ	17	22	▲ 22		
軽油	2,662 kℓ	2,589	2.58 t-CO ₂ /kℓ	6,868	8,011	▲ 14		
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO ₂ /t					
	石油系炭化水素ガス	千m ³	2.34 t-CO ₂ /千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	2.70 t-CO ₂ /t					
	その他可燃性天然ガス	千m ³	2.22 t-CO ₂ /千m ³					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO ₂ /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO ₂ /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO ₂ /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³	2.23 t-CO ₂ /千m ³					
	()	()	t-CO ₂ /()					
	()	()	t-CO ₂ /()					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計			2603	6,904	8,050	▲ 14		
電気	電気事業者	昼間買電	5,607 千kWh	1442	0.496 t-CO ₂ /千kWh	2,781	2,587	8
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	3,218 千kWh	828				
		夜間買電	1,023 千kWh	245	0.496 t-CO ₂ /千kWh	507	638	▲ 20
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		6,630 千kWh	1,687	3,289	3,225	2		
合計			4,290	10,193	11,275	▲ 10		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況（進捗状況）】

2022年度から2024年度までに、CO2排出量を2021年度比3%削減するとの目標を掲げて取り組みを行ったところ、2022年度は、CO2排出量が前年度比90.4%で、年間1%削減目標は達成している。

計画書に記載した削減取組内容の照明LED化、電動機高効率化、コンベヤ省エネベルト化、骨材プラント歩留り向上3CR破碎機稼働電力低減の各項目について実施し計画通り行えた。

太陽光発電設備導入(20kW, 15kWh/年)を2022年度中に予定していたが、実施時期を2023年度7月に変更となった。

■エネルギーの使用に係る原単位について

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
エネルギー使用量 原油換算 (k1)	4,825	4,290		
生産量 (千トン) (採掘量)	2,929	2,648		
エネルギー使用原単位 (k1/千トン)	1.647	1.620		
エネルギー使用原単位の 対前年度比 (%)		98.3		

■CO2排出量の変化状況と取組（設備投資）削減量

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量 (t-CO2)	11,275	10,193		
CO2排出量対前年度比 (%)	—	90.4		
CO2排出量対2018年度比 (%)	—	90.4		
累積 取組（設備投資）による削減量 (t-CO2)	—	27		
※ () 内は、当該年度の取組削減量		(27)	()	()
取組（設備投資）による削減 蓄積量 (t-CO2) (2021年度～2024年度)	—	27		
取組（設備投資）による対2021年度比削減 (%)		-0.2		

■2022年度削減取り組みによる削減状況

- ①水銀灯器具及び蛍光灯器具類を、LED器具に更新した。
→電力使用量 (8kWh/年) (4t-CO2/年) を削減した。
- ②高効率電動機へ転換
→電力使用量 (18kWh/年) (9t-CO2/年) を削減した。
- ③コンベヤベルト省エネベルト化
→電力使用量 (8kWh/年) (4t-CO2/年) を削減した。
- ④骨材製造プラント20-05骨材製造歩留り向上及び3次破碎機稼働電力低減対策
→電力使用量 (20kWh/年) (10t-CO2/年) を削減した。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・毎月1回、原価会議を開催し、エネルギー使用の合理化推進を図っている。燃料消費設備については、採掘重機毎の燃料消費量・燃費及び燃料原単位を、電力使用量については、電力原単位及び負荷設備稼働状況等の実績管理を行っている。各エネルギー別設備別に目標値に対する実績値の報告を行い、改善が必要とされる内容については、ソフト・ハードの両面から現状分析等を行い、改善内容を中長期的に計画し措置を行っている。
- ・紙ごみ、ガラス瓶、空き缶等は分別回収を徹底している。
- ・紙使用量削減を目的に、複数ページ印刷又は、コピーの場合は、両面印刷、両面コピーを推進している。
- ・エアコンの適切温度設定を推奨し、フィルターのこまめな清掃を推進している。